

ノートルダム清心学園理事長 渡辺和子

信頼は98%。あとの2%はゆとり。

新しいクラス・新しい科目・新しい先生、3年生が始まって、1ヶ月が過ぎようとしています。クラスの雰囲気はどうでしょうか？クラスメイトの名前と顔が一致しましたか？ひょっとしたら、クラスでまだ一度も話をしたことがない、名前も知らない人がいる・・・ということがあるかもしれません。縁あって同じクラスになったのですから、楽しいクラスにしていきたいですね！そのためにも、少しでも早くクラスメイトの顔と名前を覚え、話しかけてみましょう。

集団の中で楽しく過ごすには、ちょっとしたコツが必要です。お互い、顔が違うように考え方や価値観が違います。集団の中で上手くやっていくためには、自分とは異なる考えや価値観を認め、尊重し、お互いを信頼することが大切です。このことは皆さんもよくわかっているところです。しかし残念ながら、「裏切られた」とか「許せない」と思うことが、時々、または、ごくたまにあるかもしれません。『置かれた場所で咲きなさい』の著者、渡辺和子氏は次のようにいっています。

『人間は決して完全にわかり合えない。だから、どれほど相手を信頼しても、「100%信頼しちゃだめよ、98%にしなさい。あとの2%は相手が間違った時の許しのために取っておきなさい」人間は不完全なものです。それなのに100%信頼するから、許せなくなる。100%信頼した出会いはかえって壊れやすいと思います。「あなたは私を信頼してくれているけれども、私は神さまじゃないから間違える余地があることを忘れないでね」ということと、「私もあなたをほかの人よりもずっと信頼するけど、あなたは神さまじゃないと私は知っているから、間違ってもいいのよ」ということ・・・。そういう「ゆとり」が、2%にあるような気がします。間違えることを許すという「ゆとり」。教師との間にもお友だち同士にしても大事なことです。』

完璧な人間は存在しません。「心に2%のゆとり」を持つことができれば、お互いの間違いを許し合うことができるようです。ちょっとしたコツの1つは、相手を120%信頼するより、自分をなだめ、落ち着かせるために、たった「2%」・・・「心にゆとり」を持つように心がけることです。

チーム金商として共に過ごす最後の1年です。学校行事や部活動など、素敵な思い出をたくさん作って欲しいと願っています。そして、自己の進路実現のための大切な1年でもあります。有意義に過ごして欲しいと願っています。まずは、中間考査に向けて早め早めに取り組みましょう！

《 5月の予定 》

- 1日(金) 遠足予備日
- 8日(金) 45分×6限後 表彰伝達式
- 9日(土) 学校公開・PTA総会・3年進路ガイダンス②
- 11日(月) 代休<9日(土)>
- 12日(火) 検尿2次(～13日)7限 就職作文模試<就職希望者>・進学集会<進学希望者>
- 19日(火) 1学期中間考査①
- 20日(水) 1学期中間考査②
- 21日(木) 1学期中間考査③
- 22日(金) 1学期中間考査④
- 25日(月) 6限 総体・総文壮行式
- 26日(火) 6・7限 パネルディスカッション<就職希望者>
小論文講座模試<進学希望者>
- 27日(水) 2・3限 高校生のための文化講演会<予定>
- 27日(水)～29日(金) 個人写真撮影(履歴書・進学用)
- 28日(木)～30日(土) 陸上総体

出欠の返事は提出しましたか？
保護者の方の出席は原則必須でお願いします

進路実現において大変重要な考査となります。
準備を怠りなく、早めに取り組むこと！
また期末考査は6/30～7/3です。

《 6月の主な予定 》

- 4日(木)～7日(日) 総体・総文
- 6日(土) 英語検定
- 8日(月) 進学平常補習開始
- 9日(火) スポーツテスト
- 11日(木) 文化教室<午前：金沢歌劇座>
- 14日(日) 日商簿記検定
- 16日(火) 7限 第2回基礎力テスト
- 20日(土) 秘書検定
- 21日(日) 全商珠算・電卓実務検定
- 28日(日) 全商簿記実務検定
- 30日(火) 1学期期末考査①

「 凡事徹底 」 当たり前前で手を抜かない

第1回進路ガイダンスで、就職希望者は荒木先生のお話を聞きました。多くの方が感想に、「『当たり前前で手を抜かない』という言葉が印象に残った。日々を見直したい。手を抜かないで実践していきたい。・・・」等と、書いてありました。

「 凡事徹底 」とは・・・

「なんでもよいような当たり前前を徹底的に行うこと、または、当たり前前を極めて他人の追隨を許さないこと」という意味です。

「 凡事徹底ひとつ拾えばひとつだけきれいになる 鍵山秀三郎 」

職員室前の白板に立てかけてある額の内容です。2014年2月野球部と少林寺拳法部が「トイレ掃除に学ぶ会」からいただいたものです。

イエローハットの創業者である鍵山秀三郎氏は「凡事徹底」という考え方を提唱し、掃除や挨拶を徹底的にやり続けました。1962年自転車に乗ってスタートした行商から、今では東証一部上場企業、年商数百億円にも上がる自動車部品卸業の大手に成長しました。現在は経営の第一線から退き、NPO法人「日本を美しくする会」の相談役を務めています。

前橋育英高等学校「凡事徹底」を掲げ、2013年夏の甲子園を制す

決して才能がずば抜けている選手が揃っているわけではない前橋育英が、なぜ優勝できたのか。それは「誰でもできることを徹底し、小さなことを積み重ねて本物に近づく」という、監督の日々の教えを体現できたからです。優勝直後のインタビューで、荒井監督は「今まで積み重ねてきたことが間違いでなかったと証明できたのは嬉しい。」と、また、今年のチームとこれまでのチームの違いを問われ「毎朝、散歩しながら15分間ゴミ拾いをしているんですけど、今年はそういうこともきちんとできるチーム。本物というのは、そういう平凡なことも、きちんと積み重ねることができるところのことだと思うんです。」と話しました。

荒井監督は人間性も重視し、「野球以外の面で重視しているのは、服装と時間、清掃などです。服装が乱れたら、社会では生きていけません。時間はただ、集合時間に間に合えばいいということではなく、提出物をきちんと守るとか、『間に合う』ということが大切。掃除については、片づける人間が片づけられない人間なのかどうか。野球の試合の中には、『試合を片づける』という部分がありますし、そこにつなげて話をします。」と日常生活においても、挨拶や時間厳守、掃除を重んじて人間性を高めたそうです。

「当たり前前を積み重ねることが成功につながる。」 何を「当たり前」とするか・・・

「当たり前前を積み重ねることが成功につながる。」荒木先生が「凡事徹底」にこだわる理由です。

「凡事徹底」・・・簡単なようですが、毎日続けるということはなかなか難しいことです。

何を「当たり前前のこと」にするかは、一人一人違うと思います。自分で今年はこれを頑張るという目標を決めて、努力を続けてみましょう。「誰でもできることを誰もできないくらい徹底してやり続ける」ことができれば、必ず大きく成長することができます。でも無理せず、小さなことを「当たり前前」になるまで続けることが、大事だと思います。頑張りましょう！応援しています！！

今、最低限の「当たり前」・・・

「挨拶をする」「正しい服装容儀」「時間・期限を守る」

提出書類

失敗すれば

「かばんはロッカー・机横はお弁当のみ」「ペン書き・二重線と訂正印・シャチハタ印不可」

3学年のスローガン決定!

We will take responsibility as the senior students and show our pride of Kinsho. Let's do our best to realize our hopes and dreams.

最上級生としての自覚と誇りを持って行動し、自らの進路実現に万全を尽くす。